

エコステージで企業体質改善と環境改善を実現

エコステージ1取得そして、エコステージ2へキックオフ

株式会社三宝（本社：神奈川県横浜市 藤塚真也子社長 従業員 52 名 <http://www.sanpo38.co.jp/>）は創業 1955 年の、油空圧機器・伝動部品・制御機器・輸送機器の専門商社です。

本社、横浜支店、厚木支店、立川営業所の全社・全員参画による環境経営システムの構築を行い、2006 年 7 月 20 日 エコステージ 1 の認証を取得しました。

エコステージの取り組みについて、環境管理責任者である横浜支店 横田真洋氏にお伺いしました。

<エコステージ導入の目的（もしくはきっかけ）をお教え下さい。>

横田氏：社長がエコステージのキックオフミーティングの時、社名の「三宝」＝「三方よし」の精神を継続的に実施でき、社会的責任を担える体質強化と、職階間や拠点間の壁をなくし私たちみんなのコミュニケーションを円滑にするために導入されたと、話されたのを覚えています。また、この導入により主要取引先からの環境マネジメントシステム構築要求にも対応できるようになるし、社会貢献につながるのではないかと思います。

<具体的な活動内容を教えてください。>

横田氏：電気使用量削減や廃棄物の分別の推進、また地域清掃の実施などを行いました。なかでも、特に力を入れた活動としては、デッドストックの有効利用があります。デッドストックの増減から有効活用率を計算していますが、とても上手く進んでいます。

<エコステージ導入による変化や具体的な効果はございましたか？>

横田氏：エコステージによるシステムの構築に伴い、今まで見えなかった問題点が見えてきました。その問題点を 1 つずつ解決していくことで企業体質の改善につながりました。働きやすい社内環境作りにも役立ったのだと思います。

定性的効果としては、社内の整理・整頓など 5 S のめざましい改善ができたこと。

定量的には、デッドストックへのコスト意識が上がって、デッドストックの利用率が伸び、利益に貢献したこと。また廃棄物に対しても経費が著しく削減されました。

<活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

横田氏：最初は、エコステージの規格を理解することから難しく感じました。でも、コンサルタントの方が私たちの日常の仕事・業務に当てはめた形で規格を説明して下さるなど、懇切丁寧にご指導いただけただけで徐々にはですが理解でき、何とか進めることができました。

しかし、日常の業務と、環境管理委員会活動の負荷が折り合わず、多少オーバーワークになったこともありました。

<それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

横田氏：今後も環境保護に関する改善活動や環境美化の促進を継続維持していきたいと思っています。そして、ステージアップとして来年度のエコステージ 2 取得を目指してすでに活動を開始しています。

<エコステージ 1 初回研修の様子>

